

令和5年度自己評価

4-達成できた 3-やや達成できた 2-やや達成できなかった 1-達成できなかった

項目	評価の視点	評価
人権尊重	すべての子どもについて一人一人の存在と、その人権を尊重したか。	4
教育・保育内容について	設定したねらいが達成できたか。	3
	環境構成は適切だったか。	3
	発達過程に沿った、また発達段階に必要な経験をさせられたか。	3
	子どもが主体とした保育がなされたか。	3
	子どもの心の育ちや意欲、取り組む過程への配慮は適切だったか。	3
	子どもの状況に応じて柔軟な保育ができたか。	3
	養護的（生命の保持と情緒の安定）な配慮がなされていたか。	3
	援助方法、援助技術は適切だったか。	3
保護者との連携	保護者の連携は十分に取れていたか。	3
職員間の連携	保育者間で必要な連携は取れていたか。	3
	必要な記録を残すことができたか。	3
職員の資質向上	前月の反省、評価は生かされていたか。	3
	専門性の向上及び保育の質の向上に努めたか。	3
守秘義務	個人情報や守秘義務に配慮したか。	4

令和5（2023）年度自己評価

<p>成果</p>	<p>【教育・保育内容】 ・自己評価結果から子どもたちへの保育、援助は、概ね全職員でほぼ達成できた。</p> <p>【保護者との連携】 ・送迎時のみではなく、随時、保護者と面談を行い、関係づくりを実施した。</p> <p>【職員連携・資質向上】 ・園全体で連絡や共通理解のほか、各学年やクラスで話し合いの機会を設け、連携を行い、保育・教育に取り組むことができた。 ・個別指導計画については、研修を受けることで、より分かりやすく工夫したことで子どもの課題が具体的に成長につなげることができた。 ・研修を通して自分の保育を振り返り、思いを言葉で表すことを意識することにより課題が明確になり、より良い保育や子どもの成長につなげることができた。</p>
<p>課題</p>	<p>【教育・保育内容】 ・学年ごとのねらいについて、職員間の共通理解をより深めるため、具体的な活動をわかりやすく表記するなどしていきたい。</p> <p>【保護者との連携】 ・今年度（令和5年度）より導入された保護者向け情報配信等システムのアプリの活用しながら、温かいコミュニケーションを心がけ、多様なニーズに対応できるような力を今までよりも更に深めるように取り組んでいきたい。</p> <p>【職員連携・資質向上】 ・研修の機会や内容が職員間でバラつきがあったため、時間の調整等を行い、職員間で差がないように進めていきたい。</p>
<p>改善策</p>	<p>・ランドデザインにおける重点目標の知・徳・体のそれぞれの子どもの姿について、子どもの実態、保護者の願い、保育者の願いに沿った具体的行動を明記する。そのために外部講師等の研修・指導を受け、学年別に具体的にすることで子どもの課題が見えやすく、成長を支えやすくしていく。</p> <p>・園内の職員全員で教育・保育をすすめるため、意見交換等も行いながら、認識・思いを共有し、職員の連帯性や意識の向上を図る。</p>